

令和7年1月31日

吉川福祉専門学校
校長 久田晴實 様

吉川福祉専門学校
学校関係者評価委員会
委員長 小潟 竜一

令和6年度 第2回学校関係者評価委員会報告

令和6年度第2回学校関係者評価委員会において実施した「令和3年度自己評価報告書」に対する評価結果について、下記のとおり報告します。

記

1 学校関係者評価委員名簿

阿部 慎也	グループホーム・小規模多機能型居宅介護 サンパティオ 施設長
上田 誠治	埼玉県立三郷高等学校長
小潟 竜一	特別養護老人ホーム吉川平成園 事務課長
山岡 千賀子	介護保険複合施設憩いの里 介護職員 卒業生
與儀 忍	高齢者福祉施設やしお苑 副施設長

(五十音順)

2 学校教職員

久田 晴實	吉川福祉専門学校長
鯉沼 聡美	同 教務主任
山本 晃市	同 事務長
田村 貴章	同 事務長代理

3 学校関係者評価委員会開催状況

日 時：令和6年12月20日（金）9時00分～10時40分

会 場：吉川福祉専門学校 演習室

参加委員：学校関係者評価委員4名、学校教職員3名（陪席）

欠席委員：山岡 千賀子

欠席教職員（陪席）：山本 晃市

4 委員会次第

開会

（1）校長挨拶

（2）議長選出

（3）報告

① 第1回委員会報告と情報公開について

② 今年度の授業改善等に関する取り組み状況について

（4）協議

① 第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取り組み・改善の進め方について

② 令和7年度重点目標と達成計画・取り組み方法について

③ 学校に対する意見・要望など

（5）その他

① 今後の予定

② 事務連絡等

5 第2回委員会議事要録

別紙のとおり

以上

令和6年度吉川福祉専門学校 第2回学校関係者評価報告書

令和7年1月31日

1 第1回委員会報告と情報公開について

- ・第1回委員会を7月24日（水）に実施した。情報公開についてはHPに公開されているのでご確認いただきたい。

2 今年度の学校運営および教育活動に対する中間評価について

①学生募集の状況について（令和7年度生）

例年よりも厳しい募集状況である。現在16名の出願がある。今は職業訓練生の募集活動にシフトしている。越谷のハローワークでは説明会を実施していただきありがたい。職業訓練生の年齢層は幅広く、訓練希望者側も不安があるので、説明会はそれに対応する内容になっている。女性だけではないか、子供がいても大丈夫かなど、不安に応えるリーフレットを作成している。千葉県職業訓練生の募集は遅いため、千葉を考えたときに埼玉の募集が終わっている可能性がある。それを避けるために早めに千葉県にアプローチをしている。本来は高校生にもっと来ていただきたい。今年はありがたいことに三郷高校から3名来ていただいた。

②在籍者数について（資料のとおり）

③退学者数及び休学者数について（資料のとおり）

④成績不審者の状況について（資料のとおり）

⑤今年度取り組んでいる教育活動について（資料のとおり）

⑥その他の活動について

- ・「合同就職説明会」
- ・「吉福祭」（194名来校）
- ・「こども大学よしかわ」

運営を本部に移管した。小学生に対して新たな学びを提供している。
なお、吉川市民祭りは辞退している。

⑦第14回オールジャパンケアコンテストについて

3 第1回学校関係者評価を踏まえた課題への取組み・改善の進め方について

- ・フランスベッド（株）よりマルチポジションベッド、ロボット機能付歩行器、車いす等を借りている。
- ・国家試験対策について、2年生では主に3つのグループができています。一つは1人で勉強するグループ、そして互いに教えあうグループ、もう一つは学びの進んでいる学生が他のみんなに講義するグループである。
- ・介護福祉士国家試験対策について（鯉沼より）
学生同士で主体的に学習してもらいたいという思いがある。自分一人で勉強したい学生は自分でやっており、分からないところは教員に質問をしに来る。ただ、学力が低い学生はこのままではマズいと思うようで、友達同士で勉強のできる学生に助けを求めてサポートをしてもらっている学生もいるが、ある一定のラインより学力の低い学生は、そもそも何を言っているのか分からないため、そういったグループにも入れないでいる。そのような学生は一人で勉強することになってしまうため、そういった学生のフォローも課題の一つである。
- ・留学生は2年生が0人、1年生は4人の在籍であった。ただ、来年度はもう少し留学生が増える見込みである。見学に来た留学生が全て入学すると定員オーバーをしてしまうが、学力的に受け入れが難しい留学生も多い。前回受験した留学生も400文字の小論文が全てひらがなであったり、論旨があちこちにいつてしまっているなど日本語力に課題があった。
- ・第14回オールジャパンケアコンテストについて
昨年度2回目の参加となり、最優秀賞は獲得できなかったが奨励賞をいただいた。コンテストに参加する意義としては、養成校の教員や現場の職員の方に、自分たちの介護技術を具体的にフィードバックしていただけることがやる気にも繋がっているのではないかと考えている。このあとご説明するカリキュラム変更に関しても、特に生活支援技術には力をいれていきたいと思っている。1年生の後期の実技試験では、実際の現場であるような事例をもとに実施する。
- ・就職率に関して、未就職の1名は卒業後に一般企業へ就職した。もう1名は体調不良のため就職していない。
- ・授業料等減免制度利用者について、高等学校修学支援新制度は、家庭の収入に応じた基準があり、学生全員が対象になるわけではない。また、学校法人自体の基準もある。また、介護福祉士養成校には公的な支援があり、例えば、職業訓練であればほぼ学費が無料になり、逆に給付がある人もいます。また、介護福祉士修学資金貸付制度を利用する学生は卒業後5年働けば返還しなくていいが、それに比べて職業訓練生は非常に手厚いと言える。

- ・新型コロナウイルス感染症後、減っていた留学生が再び増えており、東京都内では右往左往している。コロナ以降、介護分野は介護の就労ビザが取得できることもあり留学生の進路先としても人気がある。介護福祉士養成校には、たくさんの留学生が入学しているが、本校では国家試験に合格させられる留学生を入学させたいという思いがある。国家試験に不合格でも5年間介護職として働けば資格として正式に認められる制度が、令和8年度入学生から切れる。卒業時に合格しなければ介護福祉士を名乗れなくなる。これによって留学生の状況が変わると思われる。
- ・今年、不法滞在（仮放免）中の方が受験されて大変気を遣った。多くの高等教育機関では、不法滞在（仮放免）中の方について、受け入れていないという話も聞いている。
- ・令和7年度入学生より、学費の一部の値上げを実施した。

4 次年度の重点目標および達成計画について

- (委員) 学生の学びが3グループあるとのことだが、自分で助けを求められない学生は多いのか。
- (学校) 多いです。友達（クラスメイト）に助けを求められない学生は、学校側（担任等）である程度までフォローしている。
- (委員) 学生は給料以外のどんなところを求人にもとめるのか。
- (学校) 給料以外では、ライフワークを大切にしている学生が多い。休みの多さはどうか、夏休みや冬休みはあるか、連続して休めるかなど、そういうのを見ている学生も多い。また、家から通いやすいかどうかも見えており、一人暮らしの希望者はほぼいない。
- (学校) 記録が苦手な人、頭では分かっているが具現化ができない可視化できない学生が多い。そのような学生は、就職するうえであまり文章を書かなくていい（タブレット等を利用している）ところなどの興味も増えてきている。
- (委員) キャリア教育について、将来に向けての意識というのがなかなか描けない人たちも多く、高校でも様々なカリキュラムや取り組みをしながら、自分の良いところ悪いところなど、どんな興味をもっているのかからスタートして進路に向けて少しずつ進んでいく3年間である。自分の将来像が描けなくて面談をやっても先行きの見通しが立てられない人もいる。専門学校なので、ある程度目標に向かって進んでいる学生も多いかと思うが、5～10年後を見越してどうしていきたいのかが重要だと考える、また机の上の勉強だけではなくコンテストへの参加なども大きなきっかけになっていくことはすごく良いと思っている。ぜひ様々なところで話を聞きながらいろいろな人と交流を重ねていきながら学びの幅を広げていただきたい。

(委員) 留学生について、これから増えていくのは想定できる。高校でも外国籍の生徒が入学してきている。日本語能力が違うので埼玉県からは教育支援があつて月に２回程度サポートしてくれる。いろんな生徒同士の会話がつながることによって語学力が少しずつ養われていることがある。逆に語学力が心配な生徒たちにサポートができるようなら専門学校の強みになるのではないかな。

(委員) もし、不法滞在（仮放免）中の方が入学し卒業した場合、就職するとなるとビザがないということになるのか。

(学校) まず留学生の場合は、在校中は「留学」ビザ、卒業後は「介護」の就労ビザを取得でき、介護福祉士としての就労が可能になる。なお不法滞在（仮放免）中の学生の場合は、住民登録（住民票）がないため、国家試験に合格しても介護福祉士としての登録ができない可能性が高い（就労ビザがもらえない可能性が高い）。

(学校) ２０２２年介護百人一首に、本校から２名入選したが、２０２４年介護百人一首にも２名入選した。なお、２０２４年は１２,４４０首の中から１００名が入選しNHKのHPに載っている。

5 その他学校教育活動全般について

(委員) 専門学校に入学したいという方で介護施設の見学に高校生が来ていた時期があつた。介護施設としても学生募集のお力になればと思うので、施設見学の希望がある際には、お声がけいただけたらと思います。